

土壌分析サービスのご紹介

福栄肥料は、

全国の農家様から送られてくる圃場の「土」を

化学分析しております。



農家様にお渡しする「土壌検定結果概要報告書」

土 壌 検 定 結 果 概 要 報 告 書

試料土壌到着月日 平成22年3月4日
報告月日 平成22年3月13日

耕作者氏名 K 様
耕作者住所 N県
土壌試料番号 57-399
対象区分 2 露地栽培
対象作物 レタス
土壌試料名 5

単位: mg/100g

測定項目	腐植 %	pH		EC 1:5 mS/cm	窒素		リン酸		交換性陽イオン			交換性 マンガン ppm	可給態 鉄 ppm	CEC (塩基置換容量) me/100g
		水	塩化加里		アンモニア態	硝酸態	吸収係数	有効態	加里	石灰	苦土			
適正值	4~10	6.0~6.5	5.5~6.0	0.2~0.5	1~5前後	5~15前後	500~800	50~100	15~30	200~300	20~40	5~8		15以上
分析値	4.5	6.9	6.1	0.165	1.1	1.5	1004	33.4	58	434.5	59.4			19.92
総合 評価	超多量	異常	異常	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰	過剰
	多い	高い	高い	高い	多い	多い	高い	多い	多い	多い	多い	多い	多い	高い
	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当	適当
	少ない	低い	低い	低い	少ない	少ない	低い	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	低い

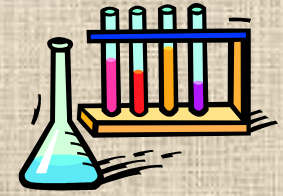
測定項目	塩基飽和度・バランス					
	加里 %	石灰 %	苦土 %	全塩基飽 和度%	石灰 苦土	苦土 加里
適正值	4~10	50~60	15~20	60~80	6以下	2以上
分析値	6.2	77.8	14.8	98.8	5.3	2.4
総合 評価	異常	異常	異常	異常	異常	異常
	高い	高い	高い	高い	高い	高い
	適当	適当	適当	適当	適当	適当
	低い	低い	低い	低い	低い	低い

塩基飽和度
交換性塩基の総量を陽イオン交換容量に対する割合で表したものを塩基飽和度(%)という。塩基飽和度が低いほどpHは低くなり酸度が強くなる。反対に塩基飽和度が、高いほどアルカリ性が強くなる。
(適正值)
石灰 50~60% 苦土 15~20% 加里 4~10% …… 全塩基 60~80%

兵庫県高砂市高砂町字東宮町1041
福栄肥料株式会社 福栄新商品開発研究所

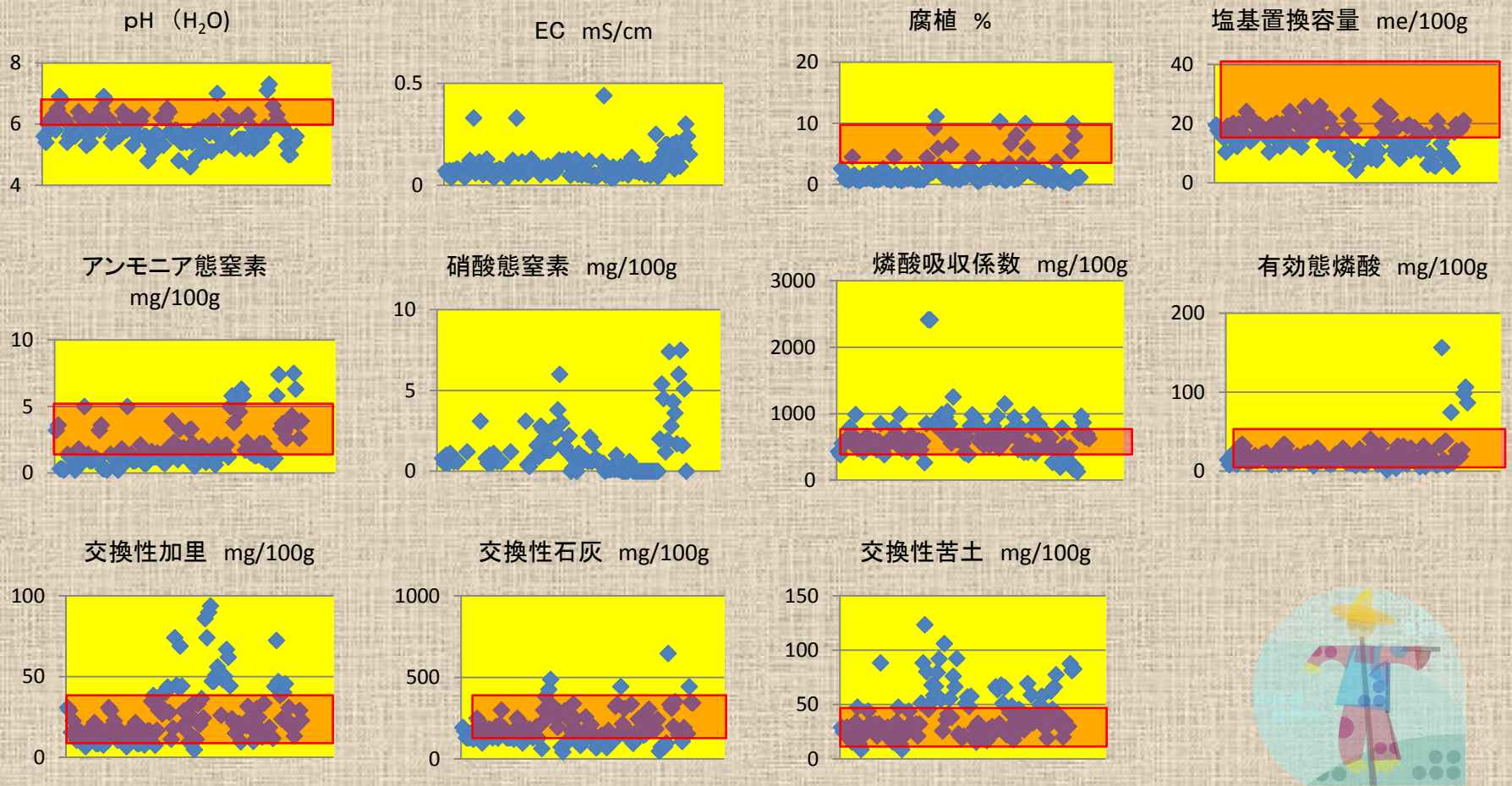
検印	担当

以下のような分析法で行っています。



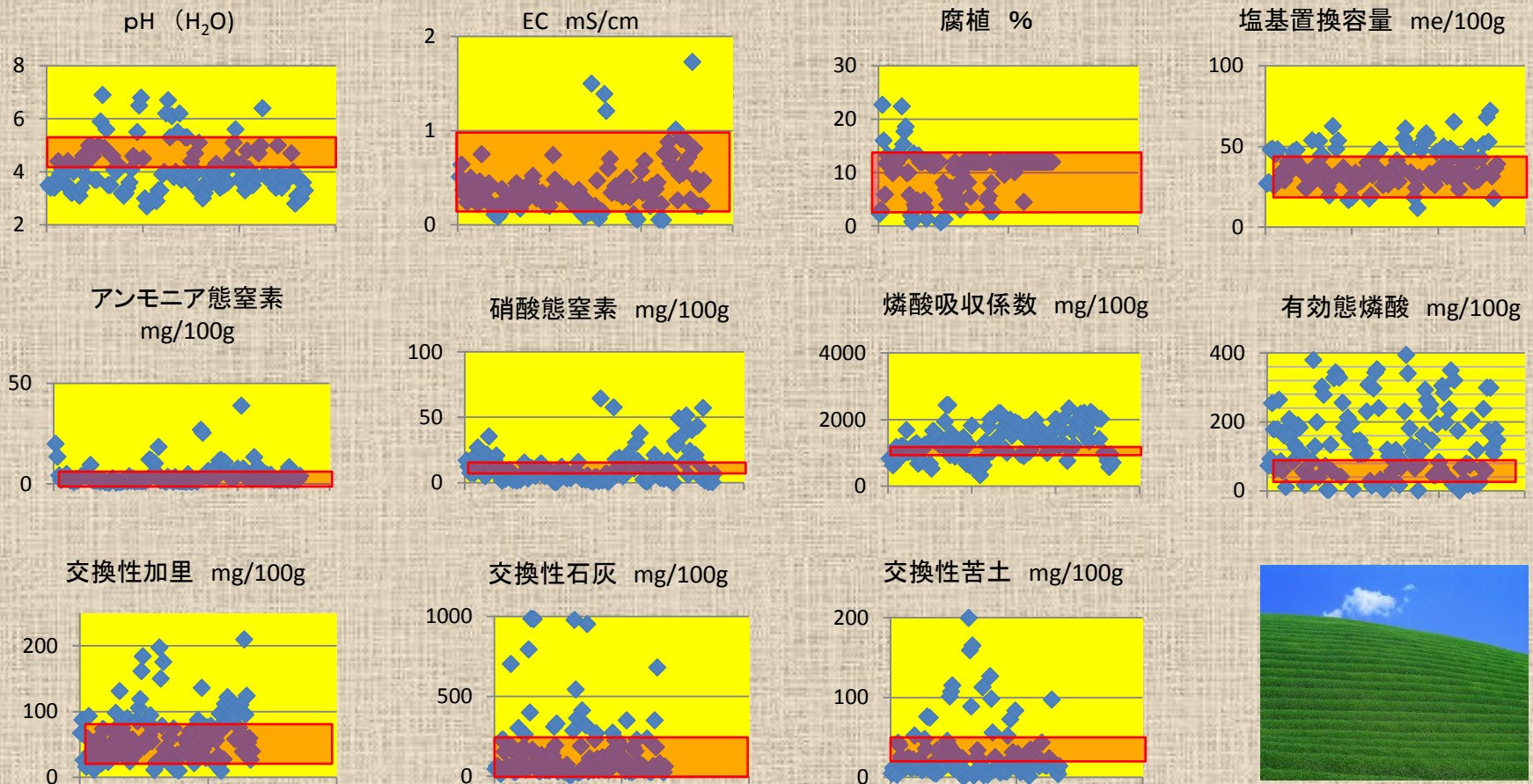
- | | |
|-------------|---|
| 1. 腐植 | 抽出－簡便法熊田変法 比色－熊田変法 |
| 2. アンモニア態窒素 | 抽出－簡便法1M塩化カリウム法、比色－インドフェノール法 |
| 3. 硝酸態窒素 | 抽出－簡便法1M塩化カリウム法、
比色－アルカリ還元・ジアゾ色素法 |
| 4. 有効態リン酸 | 抽出－常法トルオーグ法、比色－マーフィー・ライリー法 |
| 5. リン酸吸収係数 | 抽出－簡便法2.5%リン酸アンモニア変法、
比色－バナドモリブデン酸法 |
| 6. 交換性加里 | 抽出－簡便法振とう濾過法、炎光光度法 |
| 7. 交換性石灰 | 抽出－簡便法振とう濾過法
比色－オルトクレゾールフタレイン・コンプレキソン法 |
| 8. 交換性苦土 | 抽出－簡便法振とう濾過法、比色－キシリジルブルー1法 |
| 9. 塩基置換容量 | 抽出－簡便法ショーレンベルガー変法、比色－インドフェノール法 |

「水稲圃場」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



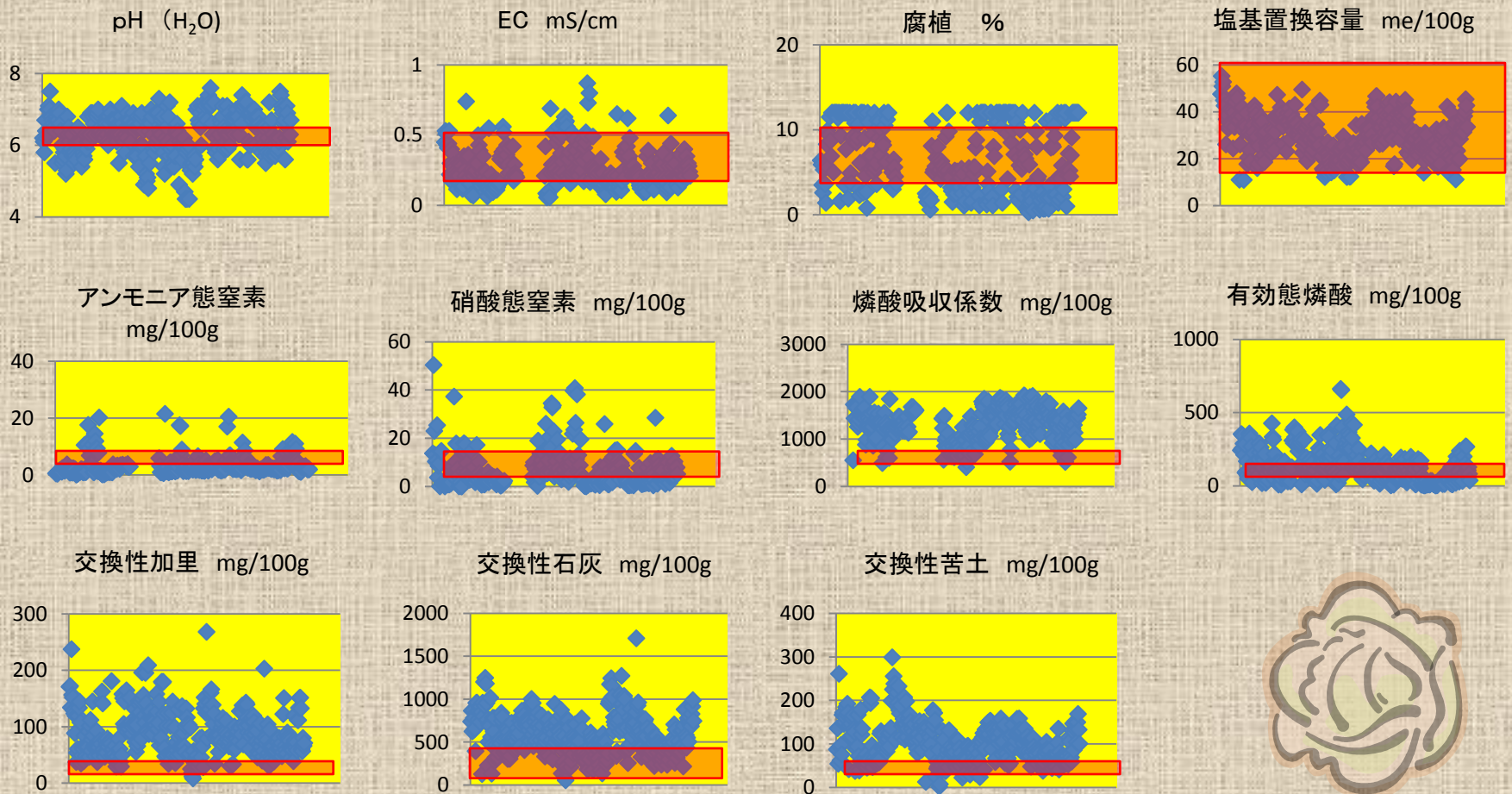
他の作物の圃場に比べ水田は湛水するので、成分のバラツキは少ない傾向にあります。
加里と苦土については、残効が多い所もあります。

「茶園土壌」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



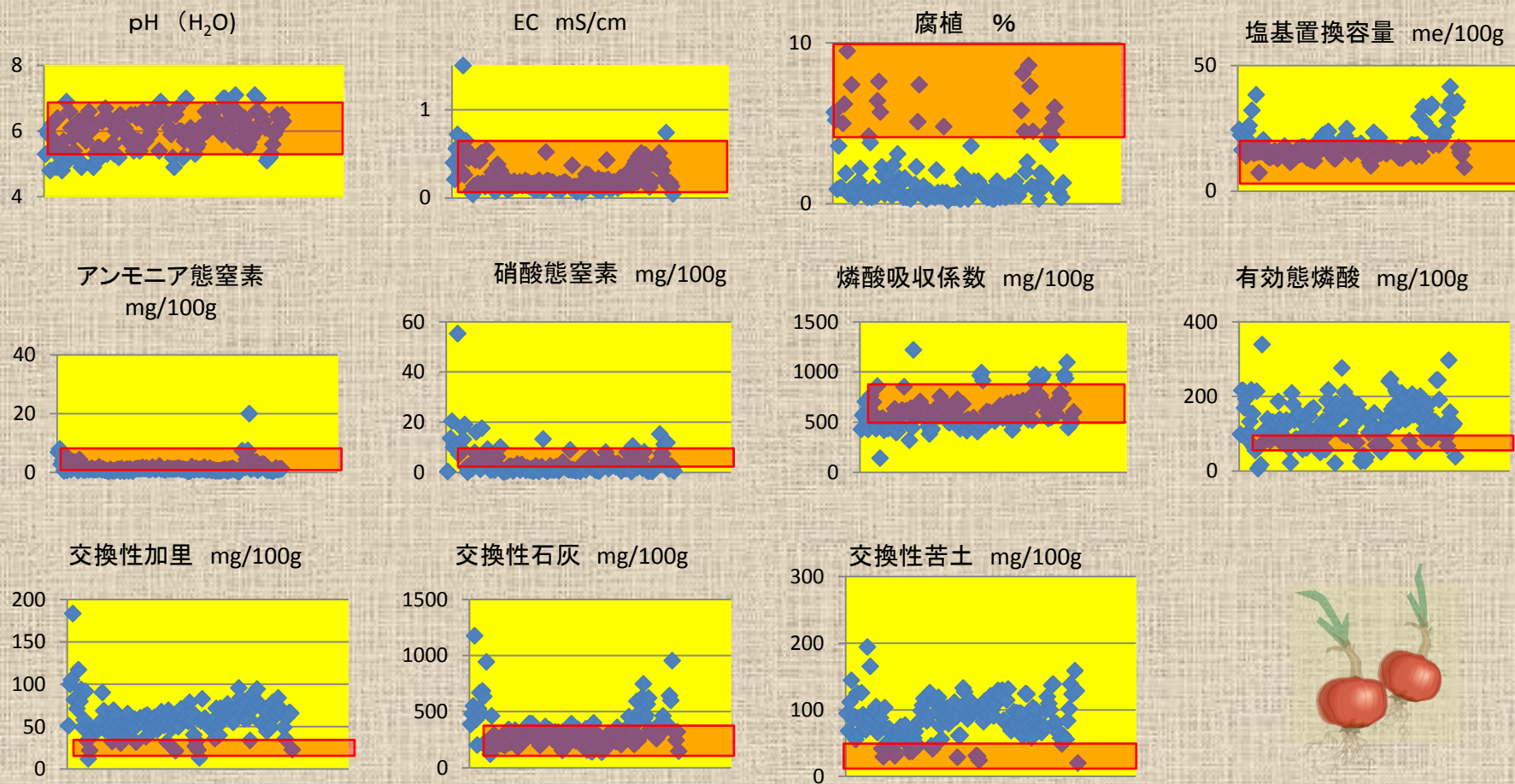
リン酸吸収係数が高いので、ついリン酸を多く入れています。
定点での定期的な分析を行い、適正施用量を検討しましょう。

「レタス圃場」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



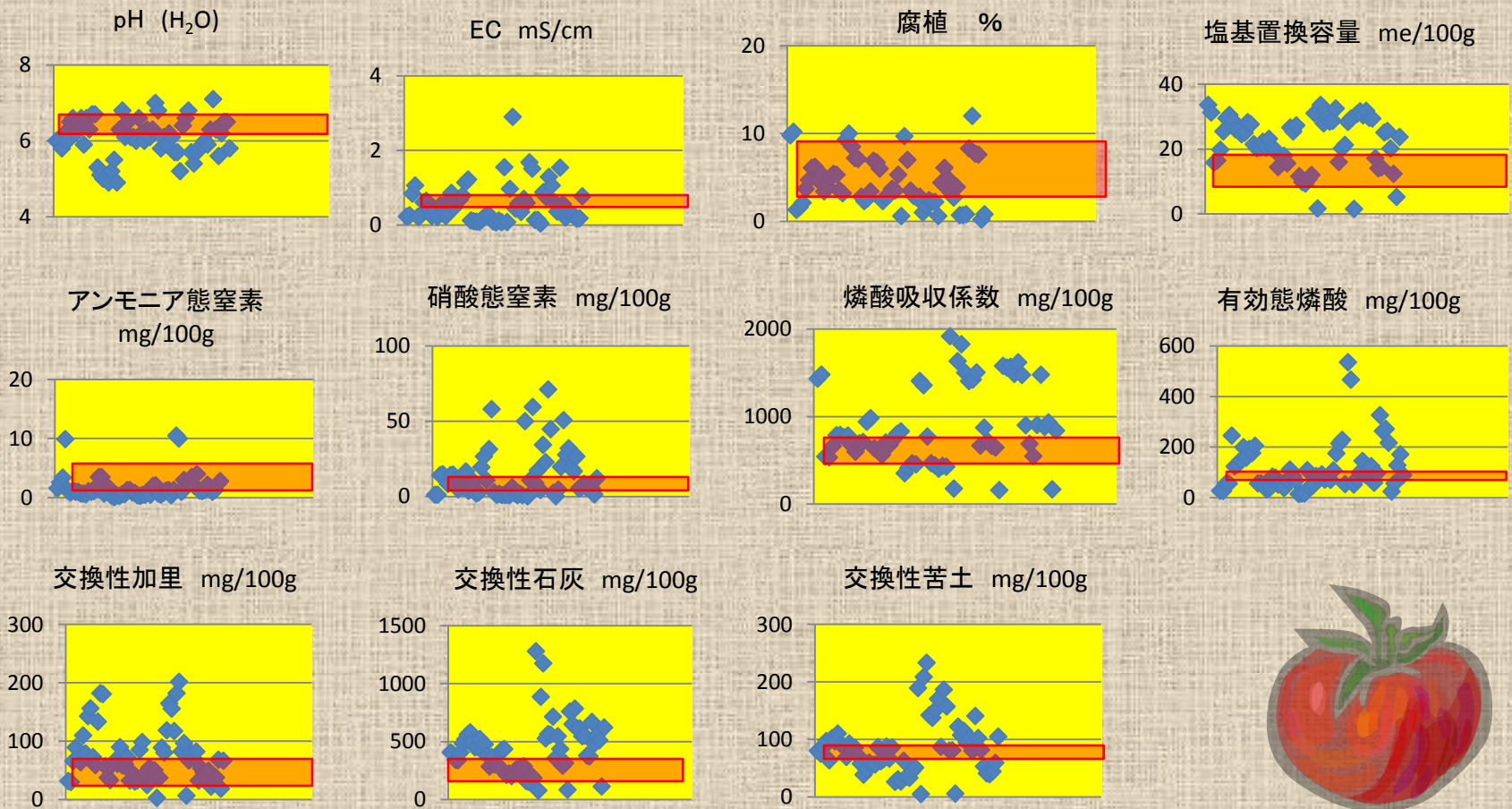
リン酸吸収係数が高いため、リン酸の施用量が多い傾向にあるようです。
加里、石灰、苦土も多く、省力化できます。

「玉ネギ」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



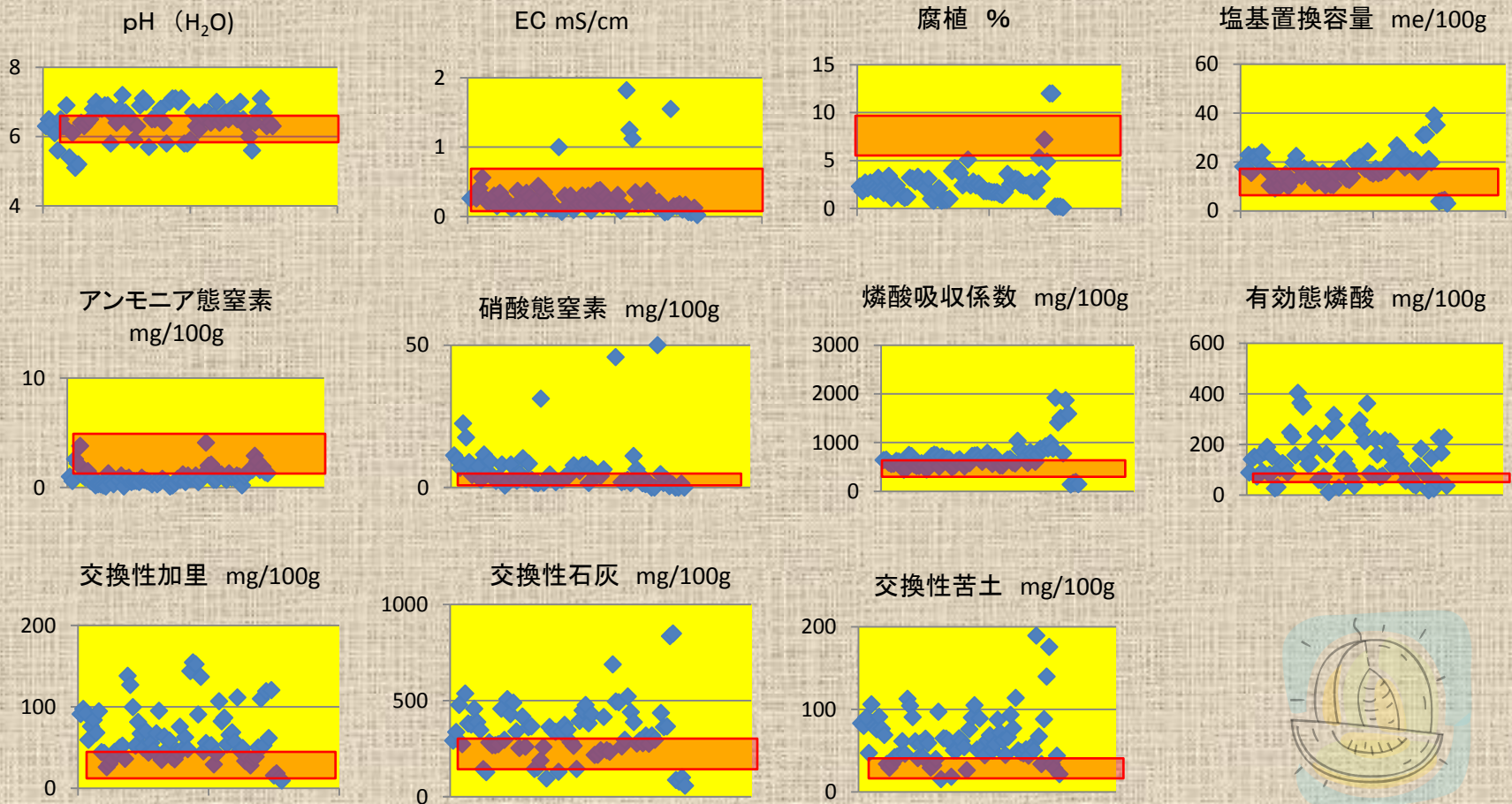
リン酸の残効が多く、省力化できます。加里、石灰、苦土も多い傾向にあります。

「トマト圃場」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



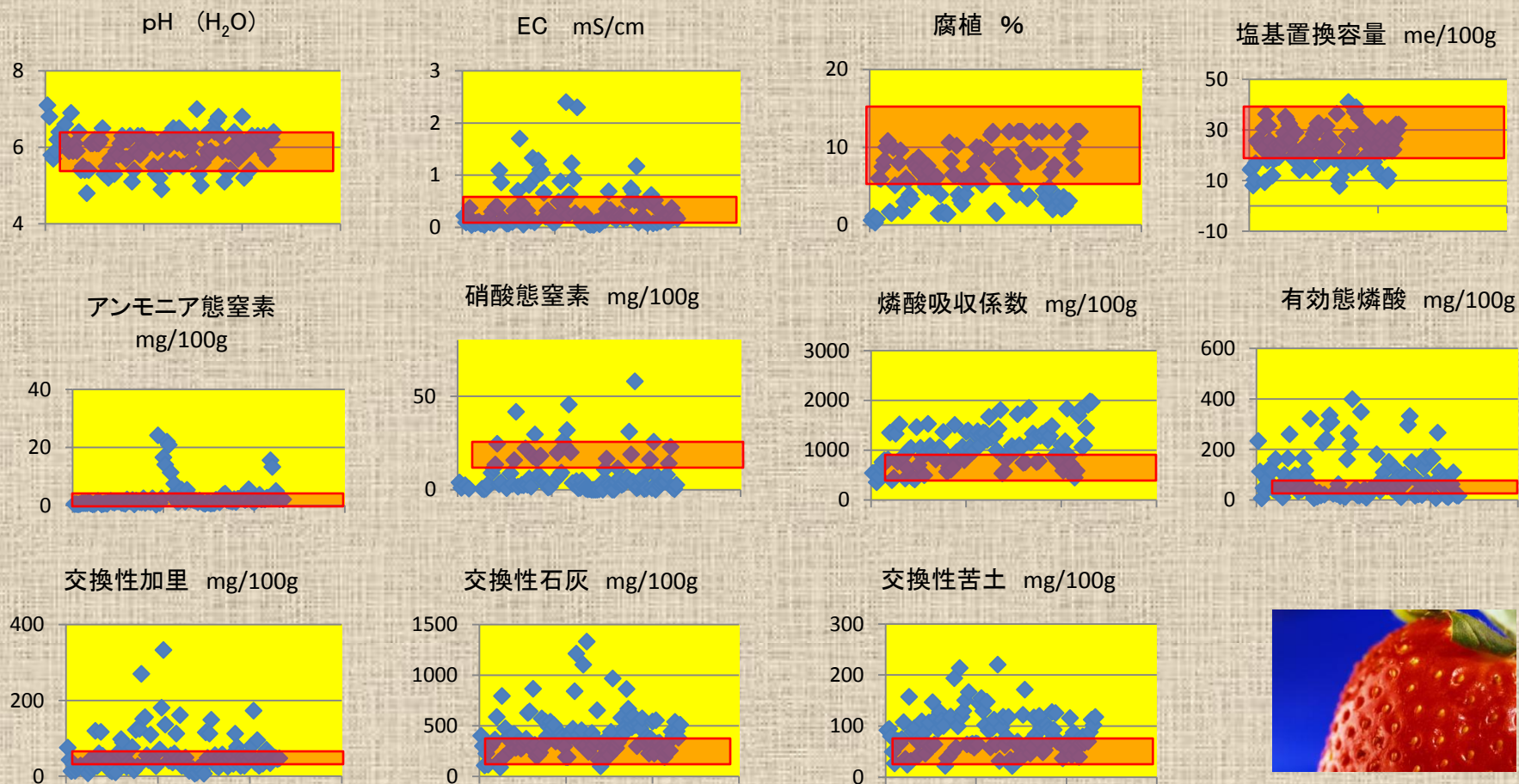
加里、石灰、苦土が多い傾向にあります。
塩基バランスを見て、施肥の改善を行いましょう。

「ハウスメロン圃場」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



pHが高めになってます。リン酸、加里、石灰、苦土が溜まってきています。塩基バランスを見て、施肥設計を組み直す必要があります。

「イチゴ圃場」の分析結果(2年間)と傾向 (赤枠は適正範囲の目安)



適正範囲の目安は「とちのか」を規準としていますが、このイチゴもリン酸、加里、石灰、苦土が高い傾向にあります。



当社営業マンが、
分析結果に基づき、
施肥のアドバイスをを行います。

当社分析サービスをどうぞご利用下さい。